

**地方部における観光コンテンツの充実のための
ローカルガイド人材の持続的な確保・育成に向けた**

山でつながる山旅のススメ

二本松市・岳温泉通い旅

取り組み事例

**合同会社 歩く東北研究所
代表社員 後藤光正**



後藤光正

宮城県仙台市出身 現在二本松市民

合同会社 歩く東北研究所 代表社員（2022年設立）

アトラク東北株式会社 代表取締役（2016年設立）

（株）インアウトバウンド東北 取締役（2018年設立）

略歴

東北学院大学文学部英文学科 卒業

旅行会社 名鉄観光 5年勤務

広告会社 創童舎他 14年勤務

みちのく潮風トレイル1000キロ踏破
日本山岳ガイド協会登山ステージ1・自然ガイドステージ1取得
Leave No Trace Leavel2インストラクター/Wilderness First Responder
温泉ソムリエ/国際利酒師

職業：ガイド兼観光地域プロデューサー



結論（自論）

ガイド育成の前に地域受入環境整備が先であり、ガイドが産業として確立できてないのがそもそもの課題。

- ①地域プロデューサーとしてのガイドDMCの設立と地域連携。
- ②DMOなど観光地域づくりの組織の経営層にガイドがいること。
- ③DMOにおいてDMC機能の拡充またはDMCとの連携強化。



**地域デザインができるガイドの存在が重要で
スキルアップよりマインド・セットが先。**

私自身は福島県二本松市岳温泉と宮城県仙台市の2拠点による展開をしています。



地方部における観光コンテンツの充実のための ローカルガイド人材の持続的な確保・育成に向けた 現場から見る課題と解決に向けて

稼ぐ力

- ガイドの領域をガイド自身が狭めている現状
- 地域観光デザイン視点を持ったガイドの重要性
- DMO等観光地域づくり団体の経営層にガイドがいるのか？

編む力

- コミュニティーを作るのもガイドの仕事
- ガイドドライバー（ガイドの掛け算）
- セルフガイドのサポートもガイドの仕事

育てる力

- 関わりシロを作る キャラクターを育てる
- 持続可能な環境をデザインするのもガイドの仕事
- 世界レベルの資格の保持と世界ネットワーキング

ガイドの役割① 稼ぐ力

- ①ガイドの領域をガイド自身が狭めている現状
- ②地域観光デザイン視点を持ったガイドの重要性（ガイドDMC）
- ③DMO等観光地域づくり団体の経営層にガイドがいるのか？
（DMOは地域の総合ガイド）

ローカルでガイドが活躍 できるために必要なことは？

理想

受け入れ環境整備が重要

そのハブになれるのがガイド

現実

ローカルはコンテンツガイドが主流のため、旅を作る（デザインできる）ガイドが少ない。また仕事は作るものでなく、もらうものという感覚のガイドが多い。観光庁が進める「エキスペリエンス・マネージャー」的役割はローカルガイドこそ必要と考えます（詳細は後述）

「登山」ではなく、 「山旅」と言おう

東北の山域の中でみれば、「安達太良」や「吾妻」を訪れる登山客数は決して少なくはない。ただしその多くは、所謂ピークハント型の「登山」であり、その帰路の中で山麓の温泉街で日帰り温泉に浸かっても、宿泊し地域の食や地酒を含めた自然体験を計画する人の割合は極僅かである。

今後、この国立公園を「守りながら売る」には、この自然を観光資源として活用し、「守る」人たちの雇用ができる収益を稼ぎ出すことが命題である。そのためには、来訪者の意識を「登山」から「山旅」にシフトさせ、道先案内人のガイド業ではなく、旅のトータルコーディネーターとして山旅を様々なカタチでサポートするための“サービス業”であるというマインドセットが必要である。

「ガイドでは喰っていけない」と言っている限り未来はない。まずは案内する側の意識レベルの変革が必要であり、安達太良自然センターでは、その人たちを「登山ガイド」とは言わず「山旅サポーター」と呼んでいる。そして、こどもたちが夢を抱く憧れの職業にすることが未来に向けたミッションである。



道先案内人から
旅のトータルコーディネーターへ



歩く東北研究所

TRAILS FOR GOOD

歩く旅を通して、訪れる人が心身の充実、心の豊かさ（自己変革）を感じる旅づくりに寄与するとともに、迎え入れる側も、豊かな自然資源を活用し、持続可能な歩く旅文化を実践継続することへ貢献する山側の**観光地域づくりカンパニー（DMC）**

トレイル・デザイン/プロモーション/コンサルテーション

歩く旅をプロデュースするガイドカンパニー



代表社員 後藤光正

自らのハイカーとしての経験も活かし、東北各地の地域文化・食・人に触れる海トレイル、山トレイルなど各種プロデュースを展開。



副代表 一瀬圭介

山岳カメラマン・冒険家
福島県二本松を拠点に梯
朝日国立公園におけるロ
ングトレイル ルートの造
成や山旅事業を展開。



副代表 西谷雷佐

日本各地において旅行商
品造成やガイド育成のプ
ロデュース及びコンサル
テーションを行い、自ら
もガイドとして活動。

1

トレイル・デザイン

2

トレイル・PR

3

トレイル・コンサル



ADATARA AZUMA
NATURE CENTER

安達太良・吾妻 自然センター / Adatarara Azuma Nature Center

- ・ 合同会社歩く東北研究所 (地域 DMC)
- [共同運営]
- ・ 有限会社 花かんざし (旅館宿泊業・飲食業)
- ・ 株式会社インアウトバウンド東北 (旅行業)

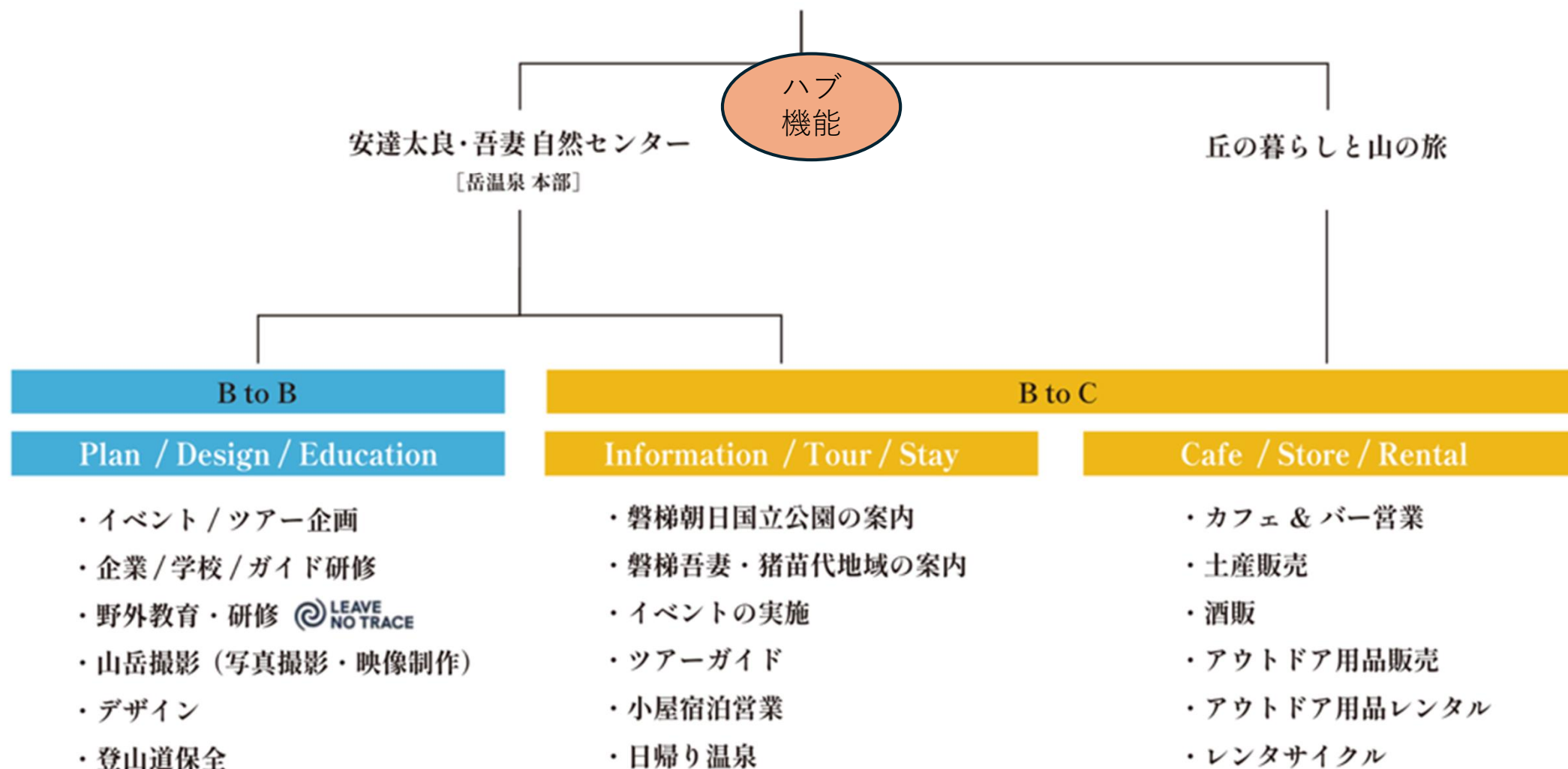


環境省 裏磐梯自然保護官事務所

(連携)

浄土平レストハウス (福島県施設管理株式会社)

安達太良・吾妻 自然センター [浄土平サテライト]





飲食業

物販

宿泊業

一次交通 自家用車・飛行機・鉄道

二次交通 地方鉄道・バス・タクシー
レンタカー・レンタサイクル

旅行業・ガイド業

観光協会・DMO・市町村・都道府県・国の省庁

「山旅」に携わる関係者が横断的に連繋する基盤づくり



持続可能な地域ブランディング



「守りながら売る」ためのトータルコーデイング

(環境の保全・人材の育成) × (価値の創出・持続可能な活用)

(「セレクトショップ」として地域商材のプロデュースやデザインを行い高付加価値化を図る)



ADATARA AZUMA
NATURE CENTER

(安達太良・吾妻自然センター / 合同会社歩く東北研究所＝自然資源を活かして地域観光づくりをする DMC)

磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル® ATA: Azuma to Adatarara

①

通う人を増やすため

温泉旅だけでなく、登山の旅だけでなく融合した山旅の取り組み

②

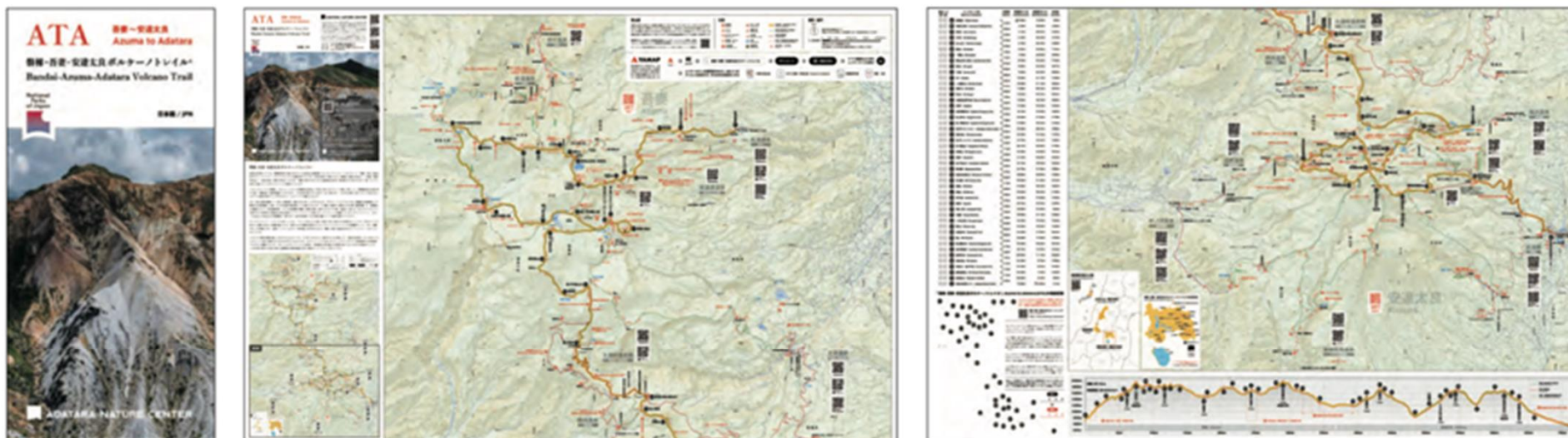
二本松・岳温泉だけではなく、主語を磐梯・朝日国立公園と広域にした取り組み

③

ガイド育成や法人コミュニティーアプローチ



磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル® ATA: Azuma to Adatarara



- ・ 2023 年 10 月 トレイルマップの販売開始
- ・ 販売価格：2200 円（税込）
- ・ 売り上げ金額のうち 500 円 / 冊を、安達太良山の登山道整備費用に充当（2023 年 10 月～2024 年 3 月＝ 65000 円）





ふくしま火山旅

Fukushima Volcano Trail Journey



ADATARA NATURE CENTER

福島県

Fukushima, Japan

×

活火山

Active Volcanos

×

山の旅

Long-Distance Hiking

磐梯朝日国立公園

福島県、山形県、新潟県に跨る国立公園

- ・出羽朝日 / 飯豊 / 磐梯吾妻・猪苗代の3地域
- ・活火山は「磐梯吾妻・猪苗代地域」内に集中

磐梯山・吾妻山・安達太良山

3つの24時間体制の常時観測・監視火山

- ・火山によって形成された大小の湖沼群やカルデラ
- ・硫黄採掘鉱山の歴史や、数多くの温泉地が点在

温泉地をつなぐロングトレイル

磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®

- ・2023年 Azuma to Adatara ルート(72km)発表
- ・将来的には総延長300km超のルートへ

磐梯朝日国立公園「磐梯吾妻・猪苗代地域」のかけがえのない価値を伝えるストーリー



繰り返す噴火がつくりあげた大地



自然と人の営みが織りなす風景



氷雪の造形美と雪国の暮らし



東北の自然と歴史、ここにしかないもの

ふくしま火山旅

モデルコース造成について

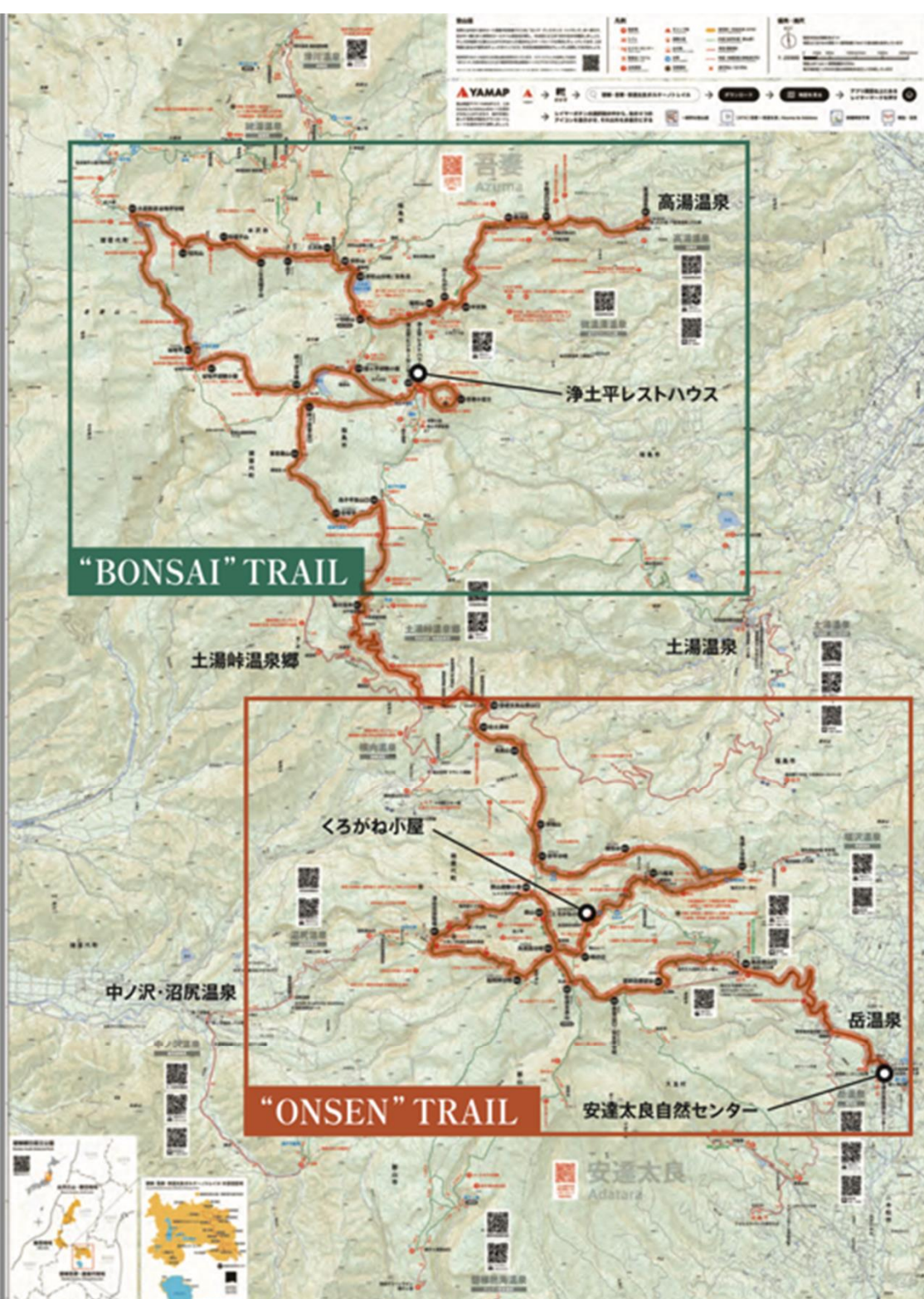
“BONSAI” TRAILと“ONSEN” TRAILのモデルコースは、磐梯朝日国立公園、磐梯吾妻・猪苗代地域内の吾妻エリアと安達太良エリアを結ぶロングトレイルルート「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」をプラットフォームとし、参加者の体力レベルやツアーにかけられる所要時間によって様々なルートのバリエーションを設定することができる。

“BONSAI” TRAIL 吾妻の「盆栽トレイル」

- ・トレイルセンター：安達太良自然センター
- ・連携：浄土平レストハウス
- ・宿泊：岳温泉 / 高湯温泉 / 土湯温泉 / 土湯峠温泉郷
- ・ガイド：安達太良自然センター、ぼんさいや あべ

“ONSEN” TRAIL 安達太良の「温泉トレイル」

- ・トレイルセンター：安達太良自然センター
- ・連携：くろがね小屋（現在改装休業中）
- ・宿泊：岳温泉 / 土湯温泉 / 土湯峠温泉郷 / 中ノ沢・沼尻温泉
- ・ガイド：安達太良自然センター



磐梯朝日国立公園「磐梯吾妻・猪苗代地域」のかけがえのない価値を伝えるストーリー



繰り返す噴火がつくりあげた大地



自然と人の営みが織りなす風景



氷雪の造形美と雪国の暮らし



東北の自然と歴史、ここにしかないもの

磐梯吾妻・猪苗代地域の「価値」を活かしたコンテンツ

磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®
(ATA: Azuma to Adatara)

“BONSAI” TRAIL

吾妻の「盆栽トレイル」

三世代 約100年にわたり、実生から五葉松を育て盆栽をつくる技術を継承してきた、吾妻五葉松の「盆栽文化」に触れる山旅

“ONSEN” TRAIL

安達太良の「温泉トレイル」

1000年間に幾度の災難を乗り越え、移転を繰り返しながらも湯守が源泉からの引湯を継承してきた「温泉文化」に触れる山旅

“BONSAI” TRAIL

吾妻の「盆栽トレイル」

三世代 約100年にわたり、実生から五葉松を育て盆栽をつくる技術を継承してきた、吾妻五葉松の「盆栽文化」に触れる山旅



噴火により積層した火山灰土や礫、一年を通して吹きつける強い西風、そして半年が雪で閉ざされる氷雪などが重なり植物の生育環境としては非常に厳しい条件が重なる東吾妻。その厳しい環境下で逞しく自生する吾妻五葉松は、大地の侵食を受け入れながら自らの姿も変容させてきた。それが、他の地域では見ることのできない巨大な「根上り」の姿であり、その造形を100年近く前から参照して作られてきた盆栽が評価を受けるようになり「Natural style」の手本として技術と共に海をわたって世界に広がっている。今では「Neagari」として海外の盆栽作家やファンにも知られる吾妻五葉松やその環境、そして三代渡って継承されてきた盆栽の姿に触れる時間を BONSAI TRAIL として紹介する。

“ONSEN” TRAIL

安達太良の「温泉トレイル」

1000年間に幾度の災難を乗り越え、移転を繰り返しながらも湯守が源泉からの引湯を継承してきた「温泉文化」に触れる山旅



温泉場としてのルーツを遡ると1200年以上前の平安時代からの記録が残っている「岳温泉(だけおんせん)」。現在は安達太良山の山麓に位置する温泉街も平安～江戸時代にかけては、標高1500mの地点に湯小屋が建ち並び、歓楽温泉場として遠くは水戸からの来湯客で賑わいを博したという。温泉場が終わりを迎えるのが200年前の1824年。安達太良連峰の1つ鉄山が崩れ、その温泉街は土砂の下敷きとなり多くの犠牲者が出る惨事に。その後は山麓に移転するものの戊辰戦争や火災などで3度の遷移を繰り返すことになる。それでも1000年以上、同じ源泉を使い続け、いつの世もそのお湯を管理する「湯守」がいる。何世代にもわたり守り続けてきたその安達太良が産む湯に触れ浸かる時間を ONSEN TRAIL として紹介している。

「火山の大地」が産み出す恩恵を享受して育まれた山麓文化



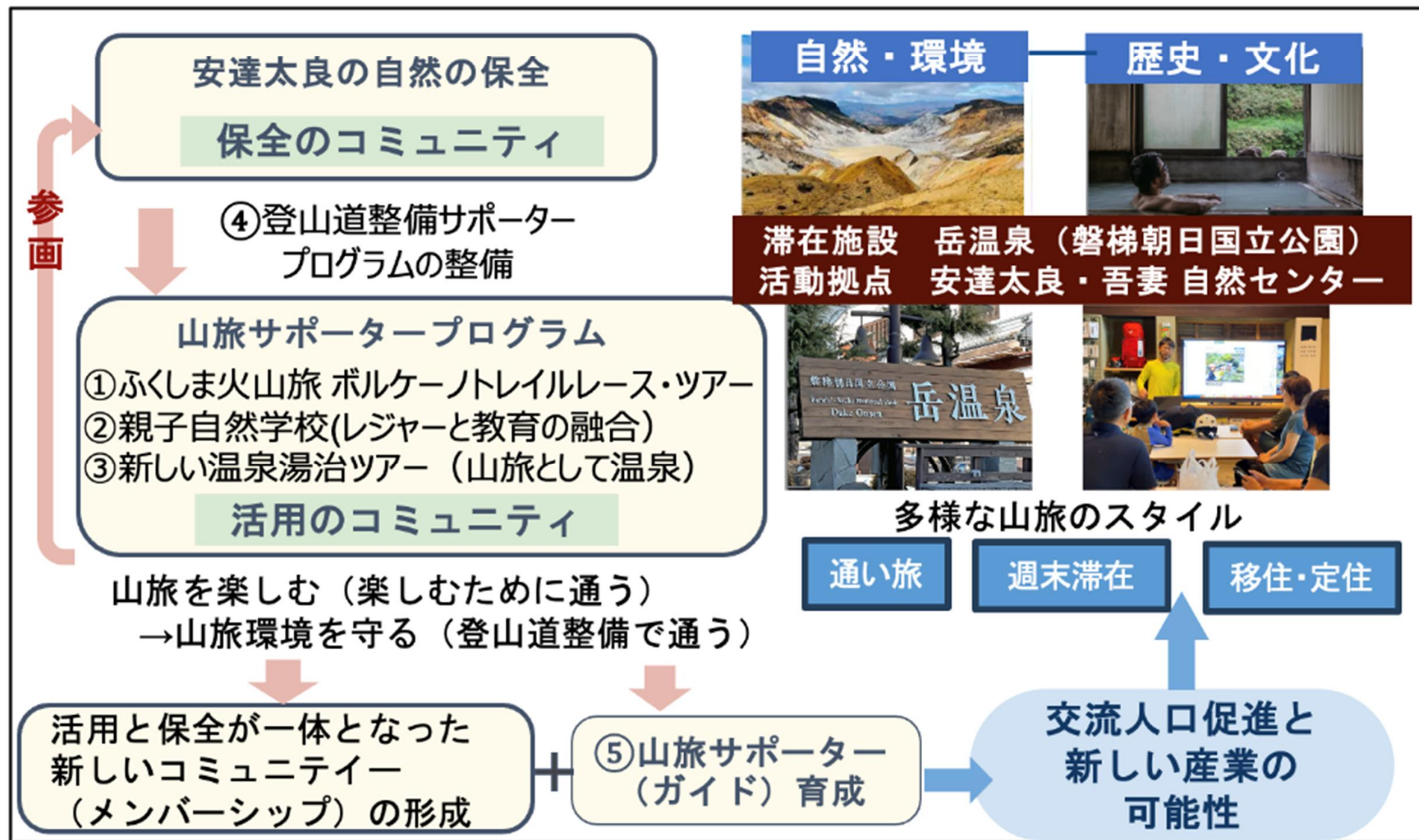
ガイドの役割②

編む力

- ①コミュニティを作るのもガイドの仕事
- ②ガイドドライバー（ガイドの掛け算）によるガイドの価値の上げ方
- ③セルフガイドのサポートもガイドの仕事（旅前と旅中のサポートも仕事）

山でつながる山旅のススメ 二本松市・岳温泉通い旅

コミュニティ形成による交流人口と新しい産業創造へ
岳温泉観光協会 X 安達太良・吾妻 自然センター協業事業
ガイドがいる自然センターが人が通う拠点へ



■プログラム展開事例

山の活用と保全をセットとして考える

20プログラム

88名の参加

10人以上が4回以上来訪

活用

火山旅/ボルケーノ・トレイル



親子自然学校



温泉通旅



山旅を楽しむだけでなく、プログラムの中でも持続可能な視点を組み込む内容

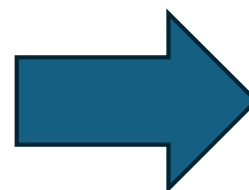
山を楽しんだ人が、山を守る人にもなる
環境保全プログラムへの参加促進

保全

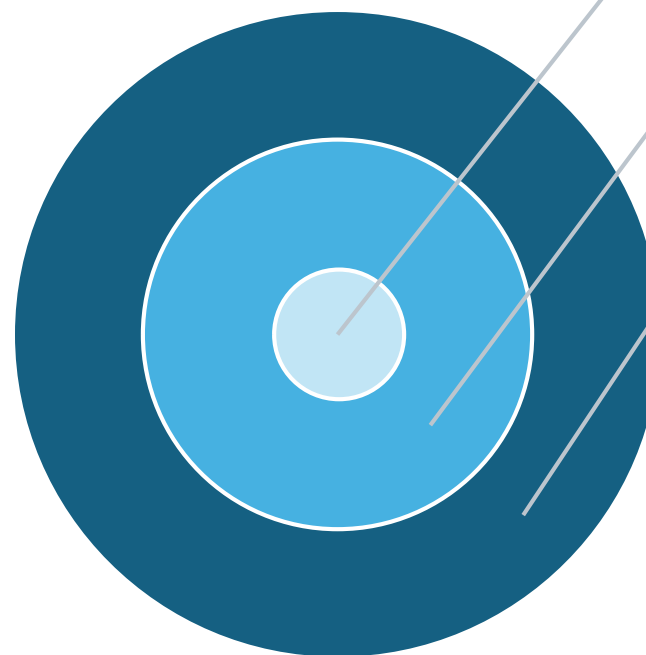
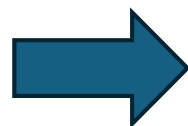


■ 関係人口の交流の流れと考え方

- ① 継続的活動とするために他のエリアのガイドやこれからガイドをしていきたい人に岳温泉に通ってもらうことからスタート
- ② 山旅の取り組みに賛同してくれるメーカー & コミュニティとコラボ
- ③ 新しいコミュニティからの岳温泉へ通旅の誘引
- ④ 通旅を促すための多様なプログラムと保全プログラムの展開による通い旅
- ⑤ 山旅を愛する人の集う岳温泉へ新しいコミュニティの創出



山を活かし・楽しみ・
そして未来へ残す・つなげる
ことへ興味関心がある
コミュニティ育成により
何度も通う場所としていく



ガイド育成

アウトドアメーカー
& コミュニティ

ハイカー & 温泉好き



Adatara Azuma Nature Cen...

2024.09.25(水)



<福島県> finetrack × Adatara Azuma Nature Center : 安達太良山の環境保全作業と活火山トレッキング...



Adatara Azuma Nature Cen...

2024.10.17(木)



<福島県> 「ONSEN TRAIL」と「BONSAI TRAIL」：紅葉の安達太良山・吾妻山を愉しむ2Days *****...

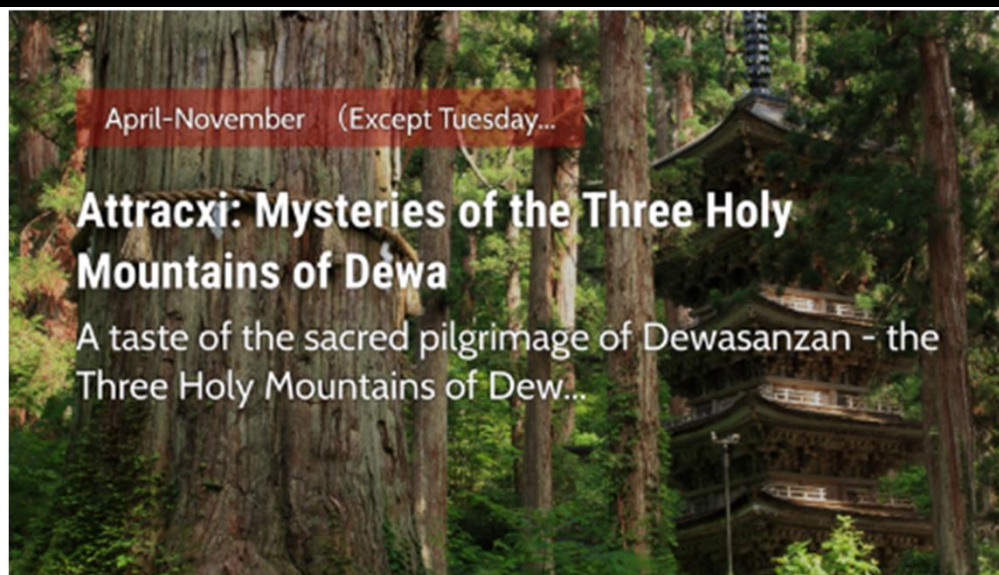


BIKE- HIKE- SLEEP



会員制プログラムのスタート
2万円の入会金
(1万円を地域通貨で戻す)

ローカルエリアによる2次交通の課題解決に向けて



ATTRACXI ガイドドライバーという考え方

ガイドが2種免許を持ち、ガイド業務と並行してドライブ業務を行う。ガイドとしての報酬のほか、ドライバーとしての報酬も受け取ることができガイドの収入を上げる取り組み。タクシー会社との契約が必要のため、タクシー会社の理解（タクシー会社にとっても英語ドライバーがいるという利点）を得るためにもDMO等などの事業アクションとして進めていく方が進みやすい。



Welcome to TOHOKU Private Tours

Join us on a fully customized tour without any concerns of language or transportation of Tohoku region throughout Aomori, Iwate, Akita, Yamagata, Fukushima and Miyagi. Our comfortable, fully licensed freets are perfect for your family or group of friends.



ABOUT

We offer fully narrated, private tours and custom charters for individuals, small groups and families. Our size is small and our focus is you and your travelling companions. Both you, and your luggage are well cared for during your time with us. This emphasis on private, customized service, includes providing an itinerary reflecting your requirements.

We believe that the best way for you to experience this region is through intimate interaction and unique insights. We have made alliance with local taxi company so became able to provide freets to comfortably explore our areas of interest. Our unique business affords us tremendous flexibility. Unlike a traditional big bus tour, we are able to take you door to door roundtrip transfer service with private vehicle.



Attracxi Bureau
InOutbound Tohoku Inc.
2-1-2, Miyachiyo,
Miyagino-ku,
Sendai, Miyagi Japan
tours@inoutbound.co.jp
T. (+81)22-302-7390

<http://attracxi.com/>

旅前と旅中のサポートもガイドの仕事



Trail & Train





Luggage Delivery Service

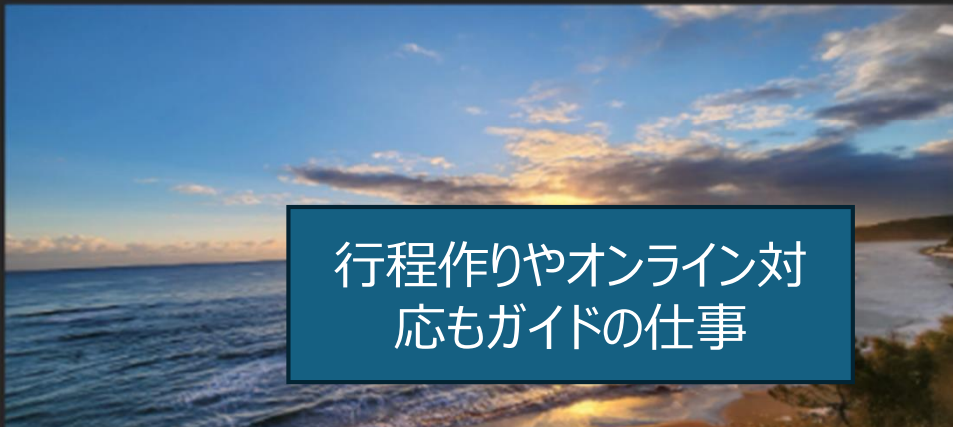
ローカルガイドの副業
の役割も担う



Our Guides

[View More](#)

英語ガイドのニーズが
高まっている



行程作りやオンライン対
応もガイドの仕事

Consultation for Tour Arrangements

- 1 Paid online consultation (using Zoom Meeting)
Basic fee: ¥10,000 for the first 60 minutes, ¥5,000 per 30 minutes thereafter
- 2 Creation of individual hiking/tour itineraries
5,000 yen per day
- 3 Estimate preparation and lodging reservation
2,500 yen per set

海外からセルフガイド要望が増え、ガイドが連携して 受け入れをスタート

【荷物配送プラン】北三陸の暮らしぶりと絶
景に触れる6泊7日コース 中上級

🕒 21時間30分(53km) 📅 春(4月~7月)/秋~冬(9~1月)
👤 1~6名 🏠 中上級
👟 トレランシューズまたはハイキングシューズ

ホーム ▶ 【荷物配送プラン】北三陸の暮らしぶりと絶景に触れる6泊7日コース 中上級

概要 旅程 YAMAP

概要

絶景エリアが続く八戸市から宮古市の区間を電車を上手に乗り継いでめぐるコース。ここでしか見れない風景の他に、漁港を中心にその地域に暮らす人々の暮らしぶりを感ずることができるルート歩きまします。1週間かけてじっくりとゆっくりと歩く日、ちょっとハードなコースを歩く日などバリエーション豊かなコース。夕食時地元の人が利用するお店などで食事をするのもおすすめです。

難易度

★★★★☆

ビューポイント

参考価格(税込)

2名1室 230,000円/人～
1名1室 275,000円/人～

※時期により宿泊費用などが変動するので、リクエストベースで再度お見積いたします。※1名でご利用希望の方は1人部屋の追加料金が別途かかります

ツアー日程

2024.11.16(土) 出発 6泊7日ツアー

2024.11.23(土) 出発 6泊7日ツアー

2024.11.30(土) 出発 6泊7日ツアー

ガイドの役割③

育てる力

- ①関わりシロを作る・キャラクターを育てる
- ②持続可能な環境をデザインするのもガイドの仕事
- ③世界レベルの資格の保持とインバウンドを視野にしたネットワーキング

山でつながる山旅のススメ

二本松市・岳温泉通い旅

ガイド マインドセットアップ

岳温泉と安達太良の歴史レクチャー

個人の特徴（キャラクター）に合わせたプログラムづくり

個性（キャラクター） X 岳温泉（磐梯・朝日国立公園）



火山好きガイドによる
火山旅ツアー



キャンプ好きによる
初めての親子キャンプ
プログラム



温泉好きによる
岳温泉ウォークプログラム

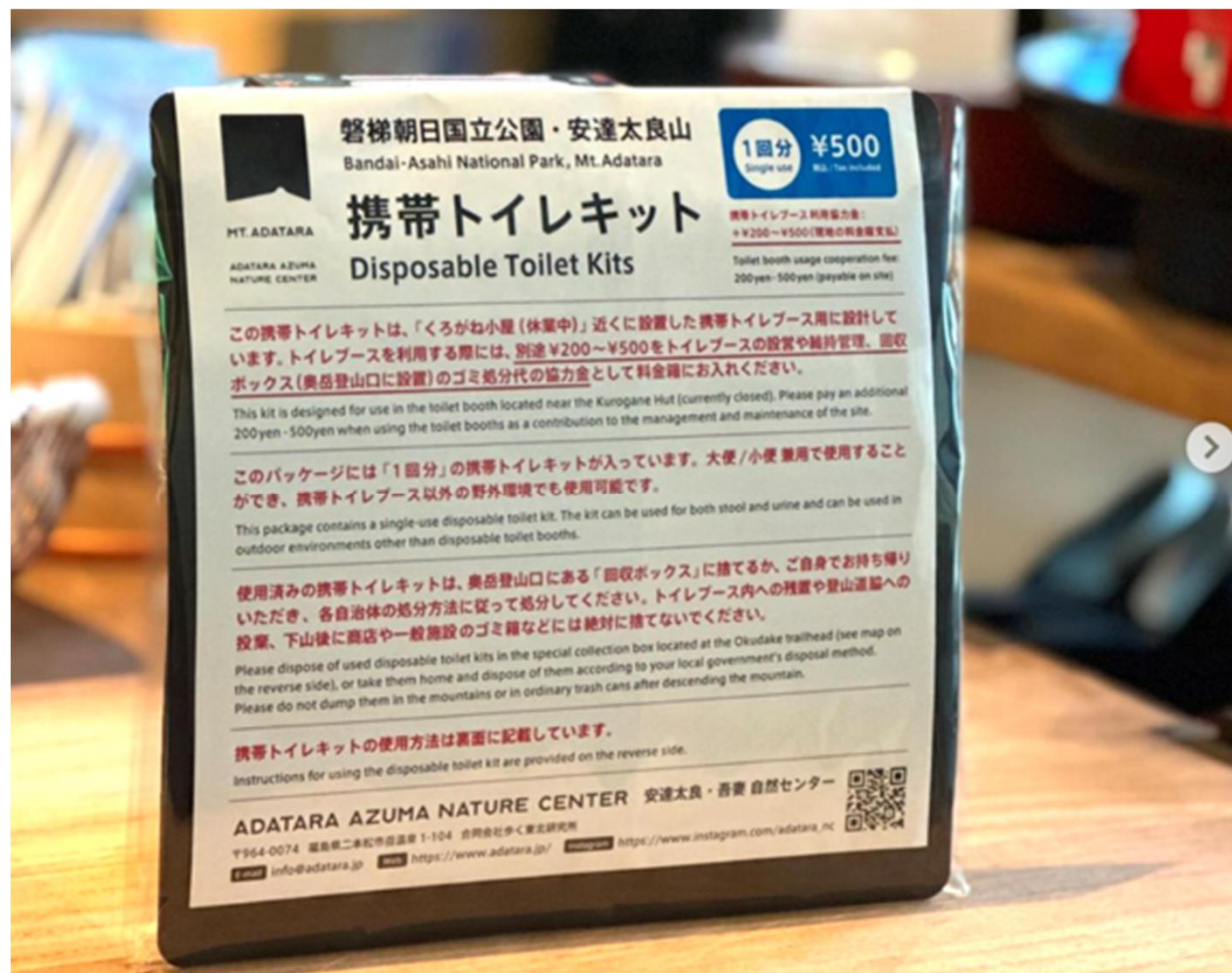
ガイドに通ってもらい、関係人口のハブとなるとともに
継続した活動へ向けたネットワーキングを図る

ガイドを増やすことができれば、受入キャパも増える。



携帯トイレ回収ボックス

Collection box for disposable toilet bag





関わりシロを作る



関わりシロを作る



14,662

[活動日記](#)
[モーメント](#)
[地図](#)
[山の情報](#)
[ストア](#)
[トラベル](#)
[マガジン](#)
[ふるさと納税](#)
[ヘルプセンター](#)

福島

磐梯朝日国立公園「安達太良山」の登山道整備と携帯トイレブース設置プロジェクト

Adatara Azuma Nature Center

[概要](#)
[応援コメント](#)

このプロジェクトの概要

- 福島県の安達太良山（あだたらやま）は、年間を通じて多くの登山者が訪れていますが、登山道の荒廃が進行し、ここ数年は集中豪雨の影響も重なって侵食スピードが加速しています。
- 「くろがね小屋」の建て替え休業により、トイレが無くなったことで、トイレ問題も顕在化しています。

支援総額

301,600円

目標金額 300,000円

100%

支援者

2,533人

残り

終了

支援はアプリでのみご利用いただけます。支援に関する質問はヘルプセンターをご確認ください。

関わりシロを作る

\ 売上の一部を安達太良山の整備に充てています /



DRY/LAYER[®]

finetrack × YAMAP 別注
ドライレイヤー[®] ベーシックT
販売中

詳しくは、finetrack または YAMAP の WEB サイトへ



finetrack WEB サイト



YAMAP WEB サイト



関わりシロを作る

【DAY1】2024年6月8日(土)

トレイルランニングレース (30km・25km / 制限時間 8時間)

【DAY2】2024年6月9日(日)

トレイルワーク(安達太良山の登山道保全作業＝横断溝清掃)



現実に目を背けず、使うことでその深刻さに気づき、動き出そう

安達太良山では、登山道の崩壊が深刻化しています。約25年前に設置されたと思われる数多くの木段は、地面の侵食により抜け落ち、よじ登るように上がらなければいけない大きな段差も多くできています。そのような箇所には雨が降ると水が溜まりたりぬかるみになるため、それを避けたり大きな段差を少しでも楽に登ろうとして、両サイドの法面に新たな踏み跡ができています。そうすると元々そこにあった植生もなくなり、更なる侵食が進行するという負のスパイラルに陥っているのです。また、ここ数年は雨の降り方にも著しい変化があり、いわゆる「ゲリラ豪雨」と呼ばれる短時間に集中した降雨の頻度も高まっています。その影響か、登山道の侵食スピードも早くなっており、みるみるうちに地面が削れて表土が流されていることが昨年度の定点観察でも見て取れます。

今回のトレイルランニングイベントでの収益は、現在「安達太良・吾妻自然センター」が担当している福島県が管轄している登山道の整備資材として生まれ変わります。先人が作ってくれたこのトレイルがあるからこそ、今の安達太良の大自然を楽しむことができます。是非今回トレイルワークにも参加し、身体で感じて理解することで、「なぜ今動き出さなければならないのか」についても考える時間にしてみましょう。

- 国立公園内の特別保護地区は歩行区間とし、そのエリアでのランニングおよびストックの使用は禁止しとしています。
- フィニッシュはいずれも岳温泉。フィニッシュ後には、巡ってきた火山の恵みでもあるお湯に浸かりながらそして思い出に浸るプログラム。料金：11,000円/人（税込）
- このトレイルランニングイベントは、「環境保全還元型」としており、このイベントに参加することで、山で楽しんだ分をその山の保全に還元することを目指しています。大会運営経費を除く参加料金の全てを、安達太良山の登山道整備費に活用し、イベント翌日の6月9日（日）には、安達太良山の登山道整備イベントも開催。

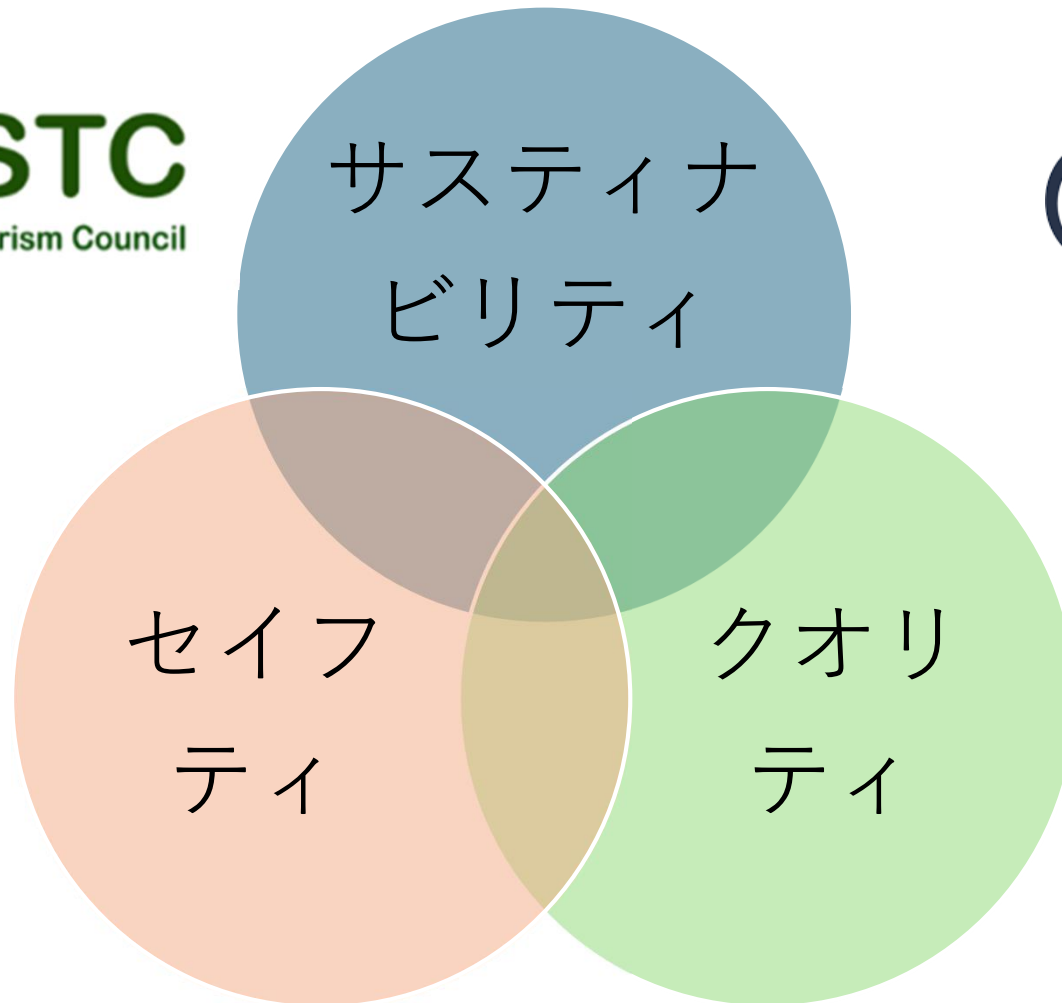








ガイドのクオリティを世界基準で考える



Adventure Travel Trade Association (ATTA)

ガイドのクオリティを世界基準で考える

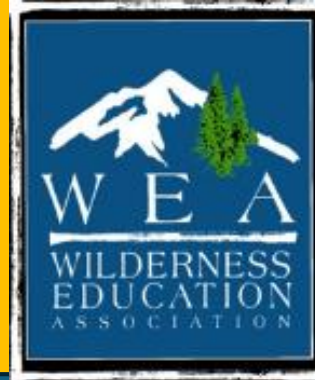
バック
カントリー



フロント
カントリー



ATガイド
の役割



オフ
トレイル

オン
トレイル



世界基準のライセンス
ネットワーク連携





世界基準のライセンスネットワーク
を活用し
台湾の国立体育大学の学生
インターン
受け入れ
(未来のガイド候補)

地方部における観光コンテンツの充実のためのローカルガイド人材の持続的な確保・育成に向けた
現場から見る課題と解決に向けて
整理

ステップ1

- デザイン力のあるガイドチーム編成（ガイドDMC） 作る力と売る力と守る力
- 持続可能な地域ブランディング視点による地域デザイン
- トップガイドによるコンテンツガイドではなく、旅プラン（STAYプラン）のデザイン

ステップ2

- トップガイドによるガイド育成（サステナビリティ・セイフティ・クオリティ）によるマインドセット
- 均一的ガイドの育成でなく、キャラクターに合わせたガイド育成
- ガイドの活躍の場と地域との関わりシロのデザイン（第2のふるさと事業にてチャレンジ）

ステップ3

- 外部との関係性ネットワーキング構築デザイン（法人や関係団体）
- コミュニティーデザイン（会員制コミュニティ） 地域と訪れる人のコーディネート
- インバウンドを視野にしたガイド展開によるマネタイズ強化と受入体制強化

地域プロデューサーとしてのガイドDMC等の環境整備が何よりも大切と考えます。
それがガイドが産業としてビジネスとして成り立つ最初の一步になります。